豊島北・原田小学校　校区

4月

5月

6月　・第Ⅰ回校区連絡会

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月　・幼保こ小研修会
　　・てしまこども園見学
　　・第 2 回校区連絡会

2月　豊島北・原田小学校体験入

3月





『連携 』から『 接続』へ　大阪教育大学　准教授　芦田祐佳先生

『連携 』と『 接続』のちがいを理解し、幼児期の遊びが小学校で求められる資質・能力の育成につながることを共有した 豊島北 ・原田小学校区ならではの生きた保育教育内容を『接続』していくことがこれからの課題。職員間で子どもたちの課題を出し合い、『伝えあう力』を育むことの大切さを確認し合う。



Ⅰ年生や他園の子ども達と交流して遊べた 楽しい経験が、小学校への安心感期待感につながっていく。

『連携 』から『接続』へ～遊びの中の『 学び』 をとらえ 、小学校へつないでいく

Ⅰ 月に校区の職員と共に研修を受け、意見交流できたことにより、共通の課題意識を確認できた。てしまこども園の施設見学を行い、園で見通しを持って活動し、生活を進めていく子ども達の姿から Ⅰ 年生への見方が変わる意識を持たれた 小学校の職員もいた。大人数を受け入れるには各園の規模や幼保こ小の勤務体制の違いがあり困難ではあったが、具体的な『接続』につなげるために職員間の意見交流が不可欠なため、今年度の様に年 Ⅰ 回研修会の開催時期や交流の持ち方を検討する必要がある。一中校区の未来へつなげる学びの 9 年間『めざすこども像 』を元に、幼児期に育てたい力や遊びの中の学びが、どんな力につながるかを共通理解し、幼保こ小中と一貫して子どもたちの育ちを支える取り組みが今後の課題と認識する。